

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.32

2019 3月-5月

2019 3/10 発行

TAKE FREE

ザ・ハローワとレーピン。
芸術家夫婦による究極の交歓。

Sinfonia

シンフォニア

スヴェトラナ・ザ・ハローワ

S v e t l a n a & V a d i m
Z a k h a r o v a R e p i n

ワデテム・レーピン

“パ・ド・ドウ for Toes and Fingers”

— 瀕死の白鳥 —

Close Up

特集! チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

ファミリーで楽しむコンサート

ライト・シンフォニック コンサート ～大人の贅沢～

ほか

- 02 チェコ・フィルハーモニー管弦楽団
06 大和証券グループPresents BBC Proms Japan 2019
07 スイス・ロマン管弦楽団
大和証券グループ Presents ライブツツヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団
08 ライト・シンフォニック コンサート～大人の贅沢～ インタビュー
09 日本センチュリー交響楽団×ザ・シンフォニーホール Vol.5
1830-3つの1830年・激動の時代を生き抜いた名曲たち- インタビュー
10 The Symphony Hall×関西4オーケストラ 2019-2020
Concert Line Up!
12 Osaka Shion Wind Orchestra 2019-2020
13 The Symphony Hall Big Band Vol.14 スペシャルゲスト 古澤巖
14 大阪交響楽団 0歳児からの“光と映像で楽しむオーケストラ”Vol.14
ズーラシアン吹奏楽部!大阪公演
15 関西フィル 第5回親子定期演奏会
オールパツハ名曲選!! 真夏のオルガンコンサート2019
16 〈名曲シリーズ〉大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソフレ・シンフォニー Vol.13 インタビュー
17 3大Bプロジェクト 中村太地 ヴァイオリン・リサイタル インタビュー
18 The Symphony Hall×和太鼓松村組 夏祭り 2019 心躍る夏
きたやまおさむプロデュース 杉田二郎 きたやまおさむを歌う
～ちよんどの良いかげんなコンサート～
19 外山雄三「三大交響曲」インタビュー
トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン ウィーン・プレミアム・コンサート
20 台湾フィルハーモニック
尾高忠明×大阪フィルハーモニー交響楽団 ブラームス・チクルス -ロマン派の豊穡-
21 イタリア交響楽団
山形交響楽団 特別演奏会 さくらんぼコンサート2019 大阪公演
22 ABCテレビ主催公演・イベント情報
26 日本センチュリー交響楽団
28 welcome more musicians!
29 ホールトピックス
30 堀江政生のシンフォニア・アワーVol.32
31 Concert Calender 2019.3～5

3月のSinfonia会員先行予約

●先行予約:3月21日(木・祝) 10:00AM～
※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。
※ザ・シンフォニー チケットセンター窓口、館内プレイガイドでの販売はございません。
※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。
●電話:ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
(10:00～18:00 火曜定休)
●WEB:http://www.symphonysinfonia.jp/

登録費
年会費
無料!

シンフォニア会員登録方法
シンフォニア会員にご登録いただきますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!!

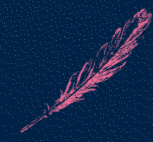
▼ WEBサイトからのご登録
ザ・シンフォニーホール ホームページ
http://www.symphonysinfonia.jp/ からご登録下さい。
▼ ハガキでのご登録
定型ハガキに下記の情報を記載いただき、62円切手を貼付の上、ポストに投函ください。
【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.メールアドレス(メールマガジン受取りの場合)
【定型ハガキ表】531-8501 大阪府北区大淀南2丁目3-3 ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係
※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。【@symphonysinfonia.jp】をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めています。○お客様からご提供いただいた個人情報については、個人情報に関する法令、規程に則り適正に管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的のみに使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1) シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送 (2) ザ・シンフォニーホールで開催する催事をご案内する印刷物の発送 (3) ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡 (4) ザ・シンフォニーホールの事業、サービスの開発・改善を目的とした調査・研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積 (5) チケット予約販売に伴う、ご本人確認およびご連絡 (6) 株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものといたします。○お客様の個人情報等を、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報がお客に安全管理されるよう適切に監督します。

表紙の一枚「スヴェトラナ・ザハロワ & ワディム・レーピン “パ・ド・ドウ for Toes and Fingers” -瀕死の白鳥-
※記載内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

The Symphony Hall



ロシアの至宝と称される芸術家夫婦の
夢の共演が、待望の関西初上陸!

ボリショイ・バレエの最高位ダンサーである
スヴェトラナ・ザハロワと世界的ヴァイオリニスト
ワディム・レーピンによる究極のコラボレーションが
ザ・シンフォニーホールで初開催される。

バレエ「瀕死の白鳥」。死が迫った白鳥の、
最期の生命の輝きを表現するソロは、
選ばれしダンサーだけが踊ることができる。

レーピンが奏でる旋律に乗って、
披露される優美なステージは、
クラシック音楽ファンもバレエファンも必見だ。



[ヴァイオリン]ワディム・レーピン
[バレエ]スヴェトラナ・ザハロワ
[バレエ]ミハイル・ロブーヒン、デニス・サーヴィン ほか
フェスティバル・アンサンブル(リーダー:南紫音)

発売中

パガニーニ:“ヴェネツィアの謝肉祭”による変奏曲 op.10 ★
グラスノフ:「ライモンダ」より“グラン・アダージョ” [振付]牧阿佐美 ◆
サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ op.28 ★
ヘンデル:「ヘンデル・プロジェクト」*録音音源を使用 [振付]マウロ・ピゴンゼッティ ◆
フロロフ:2つのヴァイオリンとオーケストラのためのディヴェルティメント
モレツィ:「カラヴァッジオ」[振付]マウロ・ピゴンゼッティ ◆
サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン ★
サン＝サーンス:瀕死の白鳥 [振付]ミハイル・フォーキン ◆
マスネ:タイスの瞑想曲 ★
パッツィーニ:妖精の踊り op.25 [振付]ヨハン・コボー ◆
◆ザハロワ出演曲 ★レーピン・ソロ曲
※当初の予定から曲目が一部変更となりました。

2019.6/5(水) 7:00PM
SS 16,200円 S 10,800円 A 6,480円 (税込)
[ご予約・お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]AMATI/ザ・シンフォニーホール



ザハロワとレーピン。
芸術家夫婦による究極の交歓。
至高の音楽とバレエが溶け合う
最高の瞬間をお見逃しなく!

スヴェトラナ・ザハロワ & ワディム・レーピン “パ・ド・ドウ for Toes and Fingers” -瀕死の白鳥-

Vadim Repin
ワディム・レーピン [ヴァイオリン]

Svetlana Zakharova
スヴェトラナ・ザハロワ [バレエ]

Mikhail Lobukhin
ミハイル・ロブーヒン [バレエ]

世界二流
プレイヤーたちの
トップに立つ

ヴァイオリン

榎本大進

Daishin
Kashimoto

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
第1コンサートマスター



©Keita Osada
(Ossa Mondo A&D)

チェコ・フィルハーモニー 管弦楽団 Czech Philharmonic

世界屈指の名門オーケストラの熱演再び——
ザ・シンフォニーホールに響く望郷の音



指揮…セミョン・ビシュコフ



©Petra Hajska

ソリストを務めるのは、世界最高峰のベルリン・フィルハーモニー管弦楽団で第1コンサートマスターを務める榎本大進。ソリストとしても、ラトルやネルソンのタクトのもと同オーケストラの舞台に立ち、小澤征爾やチョン・ミョンフンら名だたる指揮者と共演を重ねる。彼のヴァイオリンは、バランス感覚に秀で、歳を重ねるごとにその音楽は洗練さを増している。今回のチャイコフスキー演奏では、師のザハール・ブロン仕込みのロシアの伝統とともに、世界最高峰の演奏を聴かせてくれるだろう。

そして、チャイコフスキーの

最晩年の傑作《交響曲 第6番 悲

本でも多くの人に広く親しまれている「モルダウ」が披露される。チャイコフスキーは、ビシュコフの十八番だ。彼は、現在「チャイコフスキー・プロジェクト」にたずさわっており、今年その最終章を迎える。この公演で演奏される2曲には、作曲家の深い想いが込められており、その旋律や音の響きに郷愁を覚えすにはいられない。《ヴァイオリン協奏曲》は、古今東西のヴァイオリニストが愛奏する作品。叙情豊かな旋律線に富み、同時にロシアの情趣の漂うこの協奏曲は、チャイコフスキーの創意に満ちあふれている。

「情」。作曲家がこの世を去る9日前に初演されたこの作品は、彼の悲劇的な死を暗示していることでも知られる。とりわけ、フィナーレに緩徐楽章を置くスタイルは、マラーらの交響曲にも引き継がれてゆく。また、5拍子のワルツが用いられるなどロシアの息吹も感じられる。

チェコ・フィルは、ビシュコフの濃厚でエネルギーに満ちた演奏を通して、大地のノスタルジーを満喫させてくれるに違いない。

(文 道下京子)

チェコ・フィル新時代を目撃！
伝統と革新のサウンドを堪能する

Czech Philharmonic

ザ・シンフォニーホール2019年下半期のメインコンサート、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団大阪公演が決定！
交響詩「わが祖国」より「モルダウ」の演奏、チェコ・フィル×榎本大進の豪華共演という強力なラインナップで感動と興奮の世界へ誘う。



東欧が世界に誇る、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団(以下「チェコ・フィル」)が2年ぶりにこのホールを訪れる。首都プラハを拠点とするこの管弦楽団は、1896年の最初の演奏会にドヴォルザークが指揮台に立つて以来、輝かしい伝統を築き上げてきた。

前回の公演直前に、音楽監督のイルジー・ビエロフラーヴェクが急逝。今回の公演でシェフを務めるのは、ロシア出身のセミョン・ビシュコフである。パリ管弦楽団の音楽監督やドレスデン国立歌劇場の首席指揮者を歴任し、2018年10月よりチェコ・フィルの音楽監督・首席指揮者に就任。オペラにも精通した世界的なマエストロだ。

プログラムは、チェコが生んだ19世紀最大の作曲家スメタナと同じ時代をロシアで生きたチャイコフスキーの作品による構成である。

《交響詩「わが祖国」》は、スメタナが祖国への思いを強烈に表わした作品。チェコには、1946年から続く音楽の祭典「プラハの春音楽祭」がある。そのオープニング(スメタナの命日)に、チェコ・フィルによって《交響詩「わが祖国」》が演奏されるのが慣例となっている。今回の公演では、6曲からなるこの交響詩のなかから、日

[指揮]セミョン・ビシュコフ

[ヴァイオリン]榎本大進 [管弦楽]チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

スメタナ:連作交響詩「わが祖国」より「モルダウ」
チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35
チャイコフスキー:交響曲 第6番 口短調「悲愴」 op.74

2019.10/27(日) 2:00PM

S席 19,000円 A席 16,000円 B席 13,000円 C席 10,000円

プレミアム席 24,000円(税別) ※ご購入時期により消費税額が変動しますので、お問合せください。

[ご予約・お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:3/21(木・祝) 一般発売:3/24(日)



チェコ国内最長の川 ヴルタヴァ(モルダウ)川はチェコの雄大な自然の象徴だ。



「わが祖国」の第1曲の題材となったヴィシェラットの城跡。城跡内へは終日入場できる。



ブラハ城の遠景とヴルタヴァ(モルダウ)川。ライトアップされて浮かび上がる姿が美しい。

2

美しき祖国に思いを馳せる。豊かな街並みとチェコ・フィルの歴史を辿る

Czech Philharmonic

写真提供:チェコ政府観光局
Czech Republic
Land of Stories

世界で最も美しい街のひとつと言われるチェコ。

古くからある美しい建造物や豊かな田園風景は人々を魅了する。

偉大な音楽家たちとの由縁も深いチェコとは、どんな国なのか――。



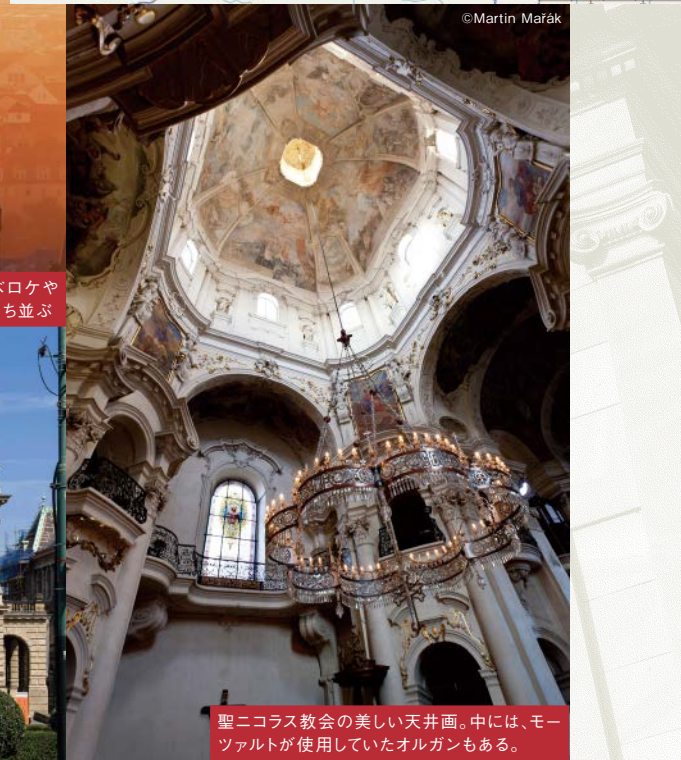
©Martin Rak

聖ニコラス教会、天文時計など、バロケやゴシック様式の歴史的建造物が建ち並ぶ



©Petra Hajska

チェコ・フィルの本拠地であるルドルフィヌム。ブラハの春音楽祭の主要開催地となっている。



©Martin Marák

聖ニコラス教会の美しい天井画。中には、モーツァルトが使用していたオルガンもある。

ルザークの賛歌「白山の後継者たち」は、30年戦争にちなんでいる。ヤナーチェクやマルティヌーなどの作曲家も、モラヴィアやボヘミアの響きを受け継いだ。

ブラハには音楽の名所が点在する。芸術家の家には、「ブラハの春」音楽祭のメイン会場、ドヴォルザーク・ホールがある。この劇場の前身である「仮劇場」でチェコ・フィルは1896年に第1回の演奏会を開催し、ドヴォルザークが指揮台に立った。現在もここがチェコ・フィルの本拠地だ。

スメタナが住んでいたスメタナ博物館は、欄干に30の聖人像の施されたカレル橋のたもとにある。国立オペラ劇場はかつてドイツ劇場と呼ばれた。対する国民劇場はチェコの文化を尊重すべく建設され、指揮者スメタナとヴィオラ奏者を務めていたドヴォルザークはここで出会ったと言われる。その他、アル・ヌーヴォー様式の美しいスメタナ・ホール、ドヴォルザーク博物館、モーツァルトが「ドン・ジョヴァンニ」を初演したエス・テート劇場やモーツァルト博物館、ベルトラムカ、そしてチェコ音楽博物館など。チェコには今も昔も変わることなく、人々の祖国への愛と誇り、そしてそれを謳った音楽が街中に色濃く息づいている。

(文 道下京子)

3

あの感動をもう一度体感してほしい。
2017年 チェコ・フィル公演。

Czech Philharmonic

2017年、チェコ・フィルの黄金時代を築いてきた首席指揮者イルジー・ピエロフラーヴェクが急逝。日本ツアーを前に、チェコ・フィルを愛するすべての人が深い悲しみに包まれたが、オーケストラと代役を務めたパトル・アルトリヒテルは、ピエロフラーヴェクの遺志を継ぐように団結し、大規模な日本ツアーを完遂した。

6年ぶりの来演となったザ・シンフォニーホール公演では、ドヴォルザーク「謝肉祭」、交響曲第5番「皇帝」、アリス・ス・良・オットと共演したベートーヴェンピアノ協奏曲第9番「新世界より」という十八番で圧倒。チェコの音楽の神髄を見せつけてくれた。

チェコ・フィル新時代。今秋、伝統と革新の響きが生み出す感動の瞬間が、再び訪れる。



コンサート&狂言ツアー ミュージカルやアニメなどでもおなじみの「スクールジ」を基にした狂言のオリジナル舞台を鑑賞

プラハ&ウィーン&チューリッヒ9日間

旅行代金 **338,000円** (2名1室お一人様)
※上記旅行代金には、国内航空運賃、現地空港税、航空保険料、燃油サーチャージが含まれています。

旅行期間 **2019年 11月14日(木)～11月22日(金)**
最小催行人数 10名・添乗員なし

資料請求・お問合せ 掲載のツアーはこの広告でのお申し込みを受け付けておりません。資料を当社下記店舗までご購入ください。

名鉄観光 梅田支店 06-6311-6621 ●観光庁長官登録旅行業第55号
●営業時間 9:00～18:00(土・日・祝・年末年始休業) ●大阪市北区堂山町3-3日本生命梅田ビル

コンサートと狂言を楽しむ黄色のツアー! クラシックの街ウィーンで日本の古典もお楽しみください。

日次	寄港地	現地時間	行程	食事
11/14 木	成田空港 パリ20h チューリッヒ プラハ	10:55 15:40 18:00 19:40	成田空港よりエルフランス航空またはスイスインターナショナルエアラインズ(予定)にてパリ又はチューリッヒ経由でプラハへ到着後、日本語アシスタントと共にホテルへプラハ泊	×機×
11/15 金	プラハ		ホテルにて朝食、日本語ガイドと共に、終日プラハ観光(聖イジー聖堂・タリボルカ塔・聖ヴィート大聖堂など)プラハ泊	〇〇×
11/16 土	プラハ	夕方	ホテルにて朝食後、出発までフリータイム。レイルジェット(2等席)にてウィーンへ移動。ウィーン到着後は、日本語アシスタントと共にホテルへウィーン泊	〇××
11/17 日	ウィーン		ホテルにて朝食後、日本語ガイドと共にウィーン市内半日観光(シェーンブルン宮殿・シュテファン寺院など)午後、フリータイムウィーン泊	〇××
11/18 月	ウィーン		ホテルにて朝食後、夕刻までフリータイム。オラヴァルホール ミュージアムクワーターにて音楽狂言公演鑑賞ウィーン泊	〇××
11/19 火	ウィーン チューリッヒ	09:40 11:05 午後	ホテルにて朝食、空港へ空路にてチューリッヒへ到着後、日本語ガイドと共に市内半日観光へ希望者は、音楽狂言公演鑑賞【オプション】チューリッヒ泊	〇××
11/20 水	チューリッヒ		ホテルにて朝食、終日フリータイム。希望者はベルン又はルツェルン観光【オプション】希望者は音楽狂言鑑賞【オプション】チューリッヒ泊	〇××
11/21 木	チューリッヒ パリ20h 成田空港	09:35 11:00 13:15	早朝、日本語アシスタントと共に空路へエルフランス航空にてパリ経由帰国の途に【スイスインターナショナルエアラインズ利用】直行便の場合もございます機中泊	〇×機
11/22 金	成田空港	09:10	成田空港到着、お疲れ様でした!	

※現地事情、航空機の都合によりスケジュールが変更となる場合があります。
※利用予定航空会社: エールフランス航空/スイスインターナショナルエアラインズ
※利用予定ホテル: 11/14～11/16(プラハ) NH PRAGUE CITY クラスまたは同等クラス
11/16～11/19(ウィーン) TREND PARK HOTEL SCHONBRUNN/SPR クラスまたは同等クラス
11/19～11/21(チューリッヒ) KROWNE PLAZA ZURICH/SPR クラスまたは同等クラス
※食事: 朝食7回・昼食1回・夕食0回(機内食は除く)

中世にタイムスリップしたかのような美しい街並みを誇るチェコ共和国。ヨーロッパ中部に位置し、日本の九州とほぼ同じ大きさで、四季がはっきりとしている。多くの古い建築物は当時の姿をとどめ、世界遺産も多いことで知られる。

首都ブラハには、10世紀ごろのロマネスクから18世紀ごろまでのバロック、その後のアル・ヌーヴォーなどさまざまな様式の建築物が残っている。町の中心部にはチェコの国家独立のシンボル、ヤン・フス像が建つ。宗教改革を唱えて火刑に処されるも、彼の信念はフス戦争(1419～36年)へと発展した。そしてスメタナの『交響詩「わが祖国」』の第2曲の題材になったヴルタヴァ(モルダウ)川はブラハの中心部を流れ、その西岸にはブラハ城がそびえる。

チェコ国内には古城が数多くあり、ホテルとして宿泊できる城もある。素朴な自然にも恵まれ、郊外には美しい田園風景が佇む。カルロヴィ・ヴァリなどの温泉保養地、またゴルフ場も多い。そしてチェコと言えば、ピルスナー・ビールをはじめとした多彩な銘柄のビールも有名。ガラス産業も盛んで、ボヘミアンガラスはおみやげの定番だ。

チェコは古い歴史を持つ王国である。しかし、15世紀半ばにハプスブルク家の支配下に置かれてしまふ。そのきっかけはフス戦争だ。さらに30年戦争の緒戦でオーストリアに敗北後、従属国の扱いを受けた。チェコには古くからマリオネットの劇場が至るところにあるが、マリオネットはチェコ語を継承するための手段の一つであったと言われる。

第一次大戦の終結により、チェコスロバキアという国家が生まれたものの、ミュンヘン会議によって国土の一部はナチス・ドイツに割譲され、やがてチェコスロバキアは解体。第二次大戦後、チェコスロバキアは社会主義国となり、ボヘミア、モラヴィア、スロバキアの3国で構成される。その後、1989年からのビロード革命により民主化され、ボヘミアとモラヴィアからなるチェコとスロバキアは1993年に分離独立。現在に至る。

様々な戦いや苦難の記憶は、チェコの人々の心から消え失せることはない。チェコの作曲家の音楽には、祖国への限らないノスタルジーとともに歴史が刻み込まれている。独立運動にも参加したスメタナ作曲『交響詩「わが祖国」』の第5曲「ターボル」には、フス教徒の賛歌も引用された。またドヴォ

The Symphony Hall Special Selection

世界トップオーケストラがザ・シンフォニーホールの春を彩る！

4/14 (Sun) スイス・ロマン管弦楽団

創立100周年を記念した来日プログラム。
対比する2つの名作を情熱たっぷりに届ける。

[指揮]ジョナサン・ノット [ヴァイオリン]辻 彩奈

メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64

マーラー:交響曲第6番 イ短調「悲劇的」

発売中

2019.4/14(日) 2:00PM

S 14,000円 A 11,000円 B 8,000円 C 6,000円 (税込)

[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ]カジモト・イープラス 0570-06-9960

[主催]KAJIMOTO/ABCテレビ



ジョナサン・ノット

創立100周年のシーズンを記念するツアーにふさわしい演目をひっさげて、スイス・ロマン管弦楽団が大阪の地を踏む。マーラーのシンフォニーでも最高傑作とたたわれる第6番。そのスコアを彩る大胆華麗にして繊細な音響効果は、ザ・シンフォニーホール空間にうつつけた。

鋭利な分析力と深い思索性を兼ね備えたジョナサン・ノットのマーラー解釈は、世界的に評価も高い。スイスのフランス語圏を代表する名門オーケストラであると同時に、ワーグナーやリヒャルト・シュトラウスを得意とする巨匠たちにも薫陶を受けてきたスイス・ロマンは、彼にとって共同作業のパートナーとして申し分のない楽団でもある。

前半を飾るメンデルスゾーンは、伸び盛りのヴァイオリニストが清新の息吹をふりまくのにふさわしいコンチェルト。その叙情性や小気味よく澁刺たる表情が、続くマーラーの悲劇的な大交響曲と鮮やかな対比感をおりなすプログラムも心憎い。充実のステージが待ち受けている。

(文 木幡一誠)



辻 彩奈

6/2 (Sun) 大和証券グループ Presents ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団

ドイツ伝統の重厚サウンドを体感。世界最古の
オーケストラの新時代は見逃せない！

[指揮]アンドリス・ネルソンス

[バリトン]トーマス・ハンブソン

マーラー:歌曲集「子供の不思議な角笛」から

チャイコフスキー:交響曲第5番 ホ短調 op.64

発売中

2019.6/2(日) 2:00PM

S 23,000円 A 20,000円 B 17,000円 C 14,000円 D 10,000円(税込)

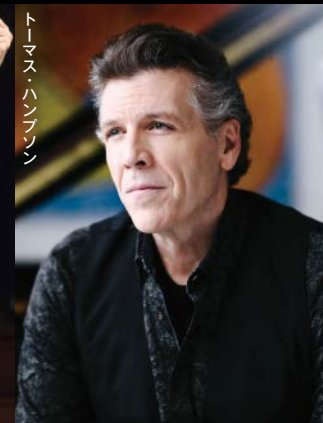
[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ]カジモト・イープラス 0570-06-9960

[主催]KAJIMOTO



アンドリス・ネルソンス



トーマス・ハンブソン

伝統を誇るオーケストラは世界中に数多いが、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団ほど輝かしい歴史を歩んできたオーケストラもない。なにしろ設立は1743年。市民階級による自主運営のオーケストラとしては世界最古の存在だ。これまでに大作曲家メンデルスゾーンをはじめ、ニキシュ、フルトヴェングラーといった名だたる音楽家を楽長に招いてきた。2018年からは現在もっとも多忙な指揮者のひとり、アンドリス・ネルソンスを楽長に招くことに成功した。そのネルソンスとライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団が6月にザ・シンフォニーホールを訪れる。このコンビでは初の来日だ。曲はマーラーの歌曲集「子供の不思議な角笛」抜粋(バリトン:トーマス・ハンブソン)とチャイコフスキーの交響曲第5番。チャイコフスキーでは、このオーケストラならではの深く重厚なサウンドが聴きもの。ネルソンスの自在の指揮が、心揺さぶる熱いチャイコフスキーを描き出す。

(文 飯尾洋二)



Interview

ヴァイオリン・川井郁子

ライト・シンフォニック コンサート ～大人の贅沢～

今夜、あの人を誘って——。
川井郁子とオーケストラが贈る、
薫り高き大人の愛のうた

L I G H T S Y M P H O N I C C O N C E R T

©Shintaro Shiratori / Sony Music Labels, Inc.

今年2月のシンフォニックバレエ・ライオンコンサートで大好評を博したヴァイオリニストの川井郁子が、8月のライト・シンフォニックコンサートにも出演が決定した。大人の心を優雅なノスタルジーで満たすこの人気シリーズ、今回も「大人の贅沢」をテーマに多彩な愛の名曲をお贈りする。

予定演目は、ロドリゴ「恋のアランフェス」、モンティ「チャールダーシュ」、ピアソラ「リベルタング」など、薫り高い名曲が多数。その選曲意図を川井は次のように語る。

「今回はバレンタインよりも、もっと大人の方に向けた愛の名曲を選びました。夫婦やカップルがおしゃれをして外に出かけ、充実した大人の夜を楽しみながら、五感を満たす。そして2人の愛を、改めて確かめたり深めたりするきっかけになればと思って」

川井自身が最近五感が満たされた時を尋ねると、

「昨年、演奏旅行で岩手県に行った際に見上げた満天の星空の輝き。あと、やはり昨年ですが、フランク・ウエルザムメスト指揮ウィーン・フィルのブラームス。どちらも圧倒的で贅沢な、生と、気にあふれていて、大きな活力とインスピレーションをいただきました」

今回の共演は、太田弦が指揮する大阪交響楽団。また、人気アナウンサーの羽川英樹が司会を務めるのも大きな聴きどころだ。

「太田さんも羽川さんもこれが初共演。太田さんは今年4月から大阪交響楽団の指揮者に就任する注目の若手です。羽川さんは学生時代に合唱団で指揮とバリトンを担当した音楽通だそうですね。それに大阪交響楽団とは久しぶりの共演ということもありますし、今回は素敵な化学反応がたくさん起こりそうで楽しみです」

そして当公演で最も楽しみなのが、作曲や編曲を手がける川井の手腕を存分に楽しめる選曲になっていること。その最たる例が、自作曲「赤い月」の新編曲だ。

「2017年に発表したアルバム『LUNA』の収録曲で、月と対峙してきた人々の様々な想いや営みを音に託しました。照らされる光によって姿を変える月は、女性のようですよ。男女の情熱的な愛をテーマにしたこの『赤い月』は、録音では太鼓や篠笛をはじめとした和楽器とコラボ。でも、今回の新編曲は大阪交響楽団との共演なので、西洋オーケストラならではの迫力に満ちた演奏をご期待ください！」

(取材&文 渡辺謙太郎)

大阪交響楽団

[ヴァイオリン]川井郁子 [指揮]太田 弦
[オーケストラ]大阪交響楽団 [司会]羽川英樹

ロドリゴ(川井郁子編曲): 恋のアランフェス/モンティ:
チャールダーシュ/ピアソラ: リベルタング/オブリビオン/ビ
ジョルド: エル・チョクロ/川井郁子: 赤い月 ほか

2019.8/24(土) 2:00PM

S 5,400円 A 4,320円 (税込)

[ご予約・お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール/公益社団法人大阪交響楽団

先行予約: 3/21(木・祝) 一般発売: 3/24(日)



日本センチュリー交響楽団×
ザ・シンフォニーホール Vol.5

1830

-3つの1830年、
激動の時代を生き抜いた名曲たち-

Interview

ピアノ：清水和音

シリーズ新公演は、ソリスト清水和音が25年ぶりにショパン第1番を弾く！



日本センチュリー交響楽団 指揮：飯森範親

©s.yamamoto

日本センチュリー交響楽団がザ・シンフォニーホールと展開しているシリーズ5回目のテーマは、「1830-3つの1830年、激動の時代を生き抜いた名曲たち」。フランス7月革命やベルギー独立革命などが起きた1830年にメンデルスゾーン、ショパン、そしてベルリオーズによって書かれた作品が3つ並ぶプログラムだが、名手の清水和音がショパンのピアノ協奏曲第1番を弾くのが大きな話題だ。すでに清水は同シリーズ1回目にも客演し、ベートーヴェンの《皇帝》を披露して好評を博した。指揮は初回より、同楽団首席指揮者の飯森範

親が務めている。

「飯森氏は同世代ですが、ピアノなどの器楽奏者と比べて指揮者はゆっくりと成熟していくので、彼はちょうど今、円熟期にさしかかっているのではないのでしょうか。ここ10年くらいで日本のオーケストラは団員の世代交代もあり、格段にレベルアップしています。日本センチュリー交響楽団も生命力の感じられるよいオーケストラになってきたと思いますよ」

ショパンの第1番は名曲中の名曲だが、清水はなんと約25年ぶりに演奏するのだという。

「デビューした1982年、まだ協奏曲は一度も弾いたことがなく、一年で十三曲の協奏曲を勉強しました。中でもショパンの第1番は四日間で仕上げなければならぬ大変な思いをしました。ショパンの最大の魅力は、その誇り高さ、そして凛としているところではないでしょうか。ベートーヴェンやチャイコフスキーの協奏曲と比べるとショパンの場合、オーケストラは控えめで伴奏に徹するという感じですが、ショパンは、ピアノにふさわしい音楽を書くことに長けた天才ですね」

ザ・シンフォニーホールについて清水は開場当初、その響きの素晴らしさに驚嘆したという。

「こんな音響のよいホールがあ

るのかと大変驚きました。当時は音楽が豊かに鳴ってくれるホールという印象が強かったのですが、今は、よりクリアな響きが際立っているように感じられます。大阪のお客様は本当に盛り上がりつつありますので、弾くのがとても楽しいですね。今回の演奏会では、ショパンと同じく1830年に書かれたベルリオーズの名作《幻想交響曲》、そしてメンデルスゾーンの序曲《フィンガルの洞窟》も合わせて、楽しんでいただければ嬉しいです」

今年はショパンの第1番を弾くことが多くなるという清水。日本を代表するピアニストの久しぶりのショパンに大いに期待したい。

(文 伊藤制子)

[指揮] 飯森範親 [ピアノ] 清水和音
[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

メンデルスゾーン：序曲「フィンガルの洞窟」op.26 (1830年) ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 小短調 op.11 (1830年) ベルリオーズ：幻想交響曲 op.14 (1830年)

2019.8/4(日) 2:00PM

S 5,940円 A 4,860円 B 3,780円 (税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] センチュリーチケットサービス 06-6868-0591

[主催] 公益財団法人日本・センチュリー交響楽団 / ザ・シンフォニーホール

先行予約：3/21(木・祝) 一般発売：3/24(日)

※センチュリー・チケットサービスは3/25(月)より一般発売

The Symphony Hall

関西4オーケストラ

2019-2020 Concert Line Up!

2019年シーズンも関西4オーケストラがザ・シンフォニー趣向を凝らした企画など楽しみな公演が盛りだくさんです。

ホールを大いに湧かします！ 人気・実力を兼ね揃えたソリストを迎える公演、おなじみの名曲から、隠れた傑作の演奏、シーズンスタートに向けて、4オーケストラの指揮者からメッセージも到着。どんな感動を届けてくれるのか、是非注目してください！

大阪フィルハーモニー交響楽団

音楽監督
尾高忠明

©Martin Richardson

指揮者からのメッセージ

就任1年目の昨年は、おかげさまでとても順調なスタートを切ることが出来ました。1年目はベートーヴェンに取り組みましたが、2年目となる2019年は「ブラームス・チクルス」に取り組みます。今回は通常の協奏曲+交響曲の組み合わせではなく、合唱曲と交響曲を組み合わせました。そうすることによってシンフォニックなだけでなく繊細な歌心にあふれるブラームスの別の一面をお見せできれば、と思っています。どうぞご期待ください。

ここがポイント

平日お昼の名曲セレクション「マチネ・シンフォニー」は今年で11年目。開演時間は午後2時。「帰りが道が明るくて安心」「終演後に映画を見たり、買い物をしたり、ゆっくり楽しめる」など好評です。今年は音楽監督・尾高忠明と桂冠指揮者・大植英次が登場、正反対の個性を持つ二人のマエストロの競演をお楽しみください！

ブラームス・チクルス -ロマン派の豊穡-
5/11(土)、7/13(土)、9/4(水)、11/20(水)
【指揮】尾高忠明 【独唱】清水華澄(アルト) ★IIのみ出演
【合唱】大阪フィルハーモニー合唱団 ⇒詳しくはP20をチェック！

<名曲シリーズ> 大阪フィル×ザ・シンフォニーホール
ソフレ・シンフォニーVol.13
5/28(火) 【指揮】角田鋼亮 【ピアノ】田部京子

<名曲シリーズ> 大阪フィル×ザ・シンフォニーホール
ソフレ・シンフォニーVol.14
10/18(金) 【指揮】大友直人 【ヴァイオリン】服部百音 ⇒詳しくはP16をチェック！

<名曲シリーズ> 平日午後の名曲セレクション マチネ・シンフォニーVol.21
6/12(水) 【指揮】尾高忠明
ドヴォルザーク:交響曲 第9番 変ホ長調 op.95「新世界より」
～映画音楽特集～
マックス・スタイナー:「風と共に去りぬ」より「タラのテーマ」
レナード・ローゼンマン:「エデンの東」テーマ
ヘンリー・マンシーニ:「ひまわり」テーマ
エンニオ・モリコーネ:「ニュー・シネマ・パラダイス」メドレー
ジェームス・ホナー:「タイタニック」メドレー
ジョン・ウィリアムズ:「スター・ウォーズ」より「王座の間とエンド・タイトル」

<名曲シリーズ> 平日午後の名曲セレクション マチネ・シンフォニーVol.22
10/30(水) 【指揮】大植英次 【独唱】秦 茂子(ソプラノ)
ラヴェル:道化師の朝の歌/シェエラザード/ボレロ
ムンク:グスキー(ラヴェル編):組曲「展覧会の絵」

公演お問い合わせ
大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890 <http://www.osaka-phil.com/>

大阪交響楽団

ミュージックアドバイザー
外山雄三

©K.Miura

指揮者からのメッセージ

歴史の長いヨーロッパのオーケストラと比べたら私たちは非常に「若い」。豊かな表現は多様な経験や様々な試練を乗り越えてこそ身につくものかもしれないが、私たちは若さ故の大胆さ、積極性を、はっきりと演奏上に反映させることが自分たちの「表現」であるに違いないと考える。それが希薄な表情にならないように、現在の自分たちの能力の全てを示して、作品の根本的な魅力を表現することができるようにと願っている。

ここがポイント

当団ミュージックアドバイザーの外山雄三によるベートーヴェン「第九」、自作のヴァイオリン協奏曲とショスタコーヴィチの交響曲第15番、豊嶋泰嗣(Vn)と上村昇(Vc)のソロによるブラームスの「二重協奏曲」とベートーヴェンの交響曲第2番。客演では実に17年ぶりとなるザンデルリンクのショスタコーヴィチの交響曲第10番、川瀬賢太郎の「シュトラウス・プロ」、マリウス・ストラヴィンスキーの「ストラヴィンスキー・プロ」も聴きものです。

第228回定期演奏会 【指揮】オーラ・ルドナー
4/25(木) コダーイ:ガランタ舞曲/ドヴォルザーク:交響曲 第7番 二短調 op.70 ほか

第229回定期演奏会 【指揮】外山雄三 【ソプラノ】木澤佐江子(関西二期会)
【アルト】松谷美里子(関西二期会) 【テノール】二塚直紀(関西二期会) 【バリトン】萩原寛明(関西二期会)
【合唱】大阪響コーラス 【合唱指揮】中村貴志 【合唱ピアノ】北口裕子
5/10(金) ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調 op.125「合唱付き」

第230回定期演奏会 【指揮】シモーネ・メネゼス
6/20(木) コーブランド:アパラチアの春/ヴィラ=ロボス:シンフォニエッタ 第1番 ほか

第231回定期演奏会 【指揮】ガブリエル・フェルツ
7/25(木) モーツァルト:交響曲 第39番 変ホ長調 K.543 ほか

第232回定期演奏会 【指揮】ヌーノ・コエーリョ 【ヴァイオリン】ホアン・モンラ
9/6(金) ブラームス:ハイドンの主題による変奏曲 op.56a/
モーツァルト:交響曲 第41番 八長調 K.551「ジュピター」 ほか

第233回定期演奏会 【指揮】川瀬賢太郎 【ホルン】福川伸陽
10/11(金) R.シュトラウス:ホルン協奏曲 第2番 変ホ長調/交響詩「ドン・ファン」 op.20 ほか

第234回定期演奏会 【指揮】外山雄三 【ヴァイオリン】森下幸路
11/21(木) チャイコフスキー:幻想序曲「ロメオとジュリエット」/外山雄三:ヴァイオリン協奏曲 第2番 op.60 ほか

第235回定期演奏会 【指揮】マリウス・ストラヴィンスキー 【ヴァイオリン】チャン・ユジン
12/12(水) ストラヴィンスキー:管楽器の交響曲/バレエ音楽「リュースを率いるアポリ」/
ヴァイオリン協奏曲 ほか

第236回定期演奏会 【指揮】本名徹次 【ピアノ】ジャンルカ・カシオーリ
2020.1/17(金) ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 op.19/ブルックナー:交響曲 第3番 二短調

第237回定期演奏会 【指揮】トーマス・ザンデルリンク
2020.2/7(金) ベートーヴェン:交響曲 第4番 変ロ長調 op.60/ショスタコーヴィチ:交響曲 第10番 ホ長調 op.93

第238回定期演奏会 【指揮】外山雄三 【ヴァイオリン】豊嶋泰嗣 【チェロ】上村 昇
2020.2/27(木) ブラームス:悲劇的序曲 op.81/
ブラームス:ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 op.102 ほか

公演お問い合わせ
大阪交響楽団 072-226-5522 <http://sym.jp/>

関西フィルハーモニー管弦楽団

音楽監督
オーギュスタン・デュメイ

©ELIAS

指揮者からのメッセージ

関西フィルの音楽監督として9年目を迎えました。10年目となる2020年には、関西フィルも記念すべき50周年を迎えるのです。私たちにはこれまで築き上げてきた貴重なレガシー(遺産)があります。しかし、将来に向かって更なる進化を目指していかなばなりません。そしてその進化を世界に向けて発信していく責任が、私にはあるのです。R.シュトラウスのアンバーサリー・コンサートは、私と関西フィルならではの企画です。彼の若き日の《ヴァイオリン・ソナタ》と、晩年に残した《メタモルフォーゼン》を一度に楽しめる、必聴の一夜と言えるでしょう。

ここがポイント

第300回記念定期演奏会となる4月29日。日本の作曲家のみの珍しいプログラムを披露する6月14日。驚異の超絶技巧で知られる、アレクサンドロ・カルボナーレさんをお迎えする2020年3月31日。

第300回記念定期演奏会「憂愁深遠…内に秘めた焦がれる情熱が、いま一瞬に解き放たれる」
4/29(月・祝) 【指揮】藤岡幸夫 【チェロ】宮田 大
エルガー:チェロ協奏曲 水短調 op.85 菅野哲也:交響曲第2番【世界初演】 ほか

第301回定期演奏会「軽妙洒脱…ウィットに富んだ逸品が縦横無尽に駆け巡る」
5/17(金) 【指揮】オーギュスタン・デュメイ 【ピアノ】広瀬悦子
メンデルスゾーン:ピアノ協奏曲第1番 ト短調 op.25 ほか

第302回定期演奏会「敢和賀宴…鈴木&小菅が三大巨人に挑む、衝撃のニッポンプログラム」
6/14(金) 【指揮】鈴木優人 【ピアノ】小菅 優
矢代秋雄:ピアノ協奏曲【矢代秋雄 生誕90年記念】 ほか

第303回定期演奏会「神託預言…英雄の生涯が描かれたメンデルスゾーン畢生の大作《エリア》」
7/12(金) 【指揮】飯守泰次郎 【ソプラノ】石橋菜実 【アルト】福原寿美枝 【テノール】堀 儀文
【バリトン】与那城 敬 【合唱】関西フィルハーモニー合唱団 ほか

第304回定期演奏会「幻想音画…長月の雨にはショパンがよく似合う～《田園》の自然賛美」
9/16(月・祝) 【指揮】オーギュスタン・デュメイ 【ピアノ】ジョナサン・フォーネル
ショパン:ピアノ協奏曲第2番 へ長調 op.21 ほか

第305回定期演奏会「轟音響徹…阿鼻叫喚の音楽絵巻、壮絶無比の野心作《鐘》、ついに上演」
10/16(木) 【指揮】藤岡幸夫 【ヴァイオリン】神尾真由子
ショルティン:ヴァイオリン協奏曲 ほか

第306回定期演奏会「交響詩…シューマン、ブラームス、そしてクララへ美しくも悲しき愛の物語」
11/29(金) 【指揮&ヴァイオリン】オーギュスタン・デュメイ 【ピアノ】上田晴子
R.シュトラウス:ヴァイオリンソナタ 変ホ長調 op.18 ほか

【第九】特別演奏会「一期一会 高らかに生命への讃歌として歌い上げる不朽の名作《第九》」
12/14(土) 【指揮】村上寿昭 【合唱】田辺第九合唱団
ベートーヴェン:交響曲第9番 二短調 op.125「合唱付き」 ほか

第307回定期演奏会「師弟情愛…シューマン、ブラームス、そしてクララへ美しくも悲しき愛の物語」
2020.2/28(金) 【指揮】コロラ・ベルク 【ピアノ】ダナエ・デルケン
クララ・シューマン:ピアノ協奏曲 イ短調 op.7 ほか

第308回定期演奏会「反戦哀悼…人生の否定が肯定か～芸術家の良心が滲み、DSCHの最高傑作」
2020.3/31(火) 【指揮】高岡 健 【クラリネット】アレクサンドロ・カルボナーレ
ウェーバー:クラリネット協奏曲第1番 へ長調 op.73 ほか

公演お問い合わせ
関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6577-1381 <http://www.kansaiphil.jp>

日本センチュリー交響楽団

首席指揮者
飯森範親

©山岸 伸

指揮者からのメッセージ

今年30周年を迎える日本センチュリー交響楽団は、今まで私どもと関わりの深い音楽家の皆さんを定期公演で招聘し、それぞれゆかりのある作品をご披露いただきます。また4月のシーズン幕開けの定期公演では満を持してブルックナーの交響曲第9番を、秋には記念公演としてブラームスのドイツ・レクイエムを演奏します。ハイドンマラソンを通して培ってきた表現力、そして緻密なアンサンブルをお楽しみください。

ここがポイント

今年日本センチュリー交響楽団の創立30周年のシーズンです。初代常任指揮者ウリエル・セガル、第2代常任指揮者高岡健、初代音楽監督小泉和裕といった歴代の指揮者を定期演奏会に招聘します。また首席指揮者飯森範親とは30年を超えて誰からも親しまれる楽団を目指して、今のセンチュリーの魅力をお伝えします。

第234回定期演奏会 【指揮】飯森範親
4/11(木) ワグナー:交響曲 木長調/ブルックナー:交響曲第9番 二短調 WAB109

第235回定期演奏会 【指揮】高岡 健 【ヴァイオリン】竹澤恭子
5/16(木) パーバー:ヴァイオリン協奏曲 op.14 ほか

第236回定期演奏会 【指揮】ヤノ・シュ・コヴァーチュ 【ピアノ】ガーボル・ファルカシュ
6/13(木) バルトーク:舞路組曲 BB 86a/リスト:ハンガリー幻想曲 S.123 ほか

第237回定期演奏会 【指揮】飯森範親 【ピアノ】横山幸雄
7/18(木) ダンディ:フランスの山人の歌による交響曲 op.25
ビゼー:「アルルの女」組曲 第2番/ラヴェル:ボレロ ほか

第238回定期演奏会 【指揮】ピアノ・シュテファン・ヴラダー
9/26(木) スッペ:喜歌劇「詩人と農夫」序曲
モーツァルト:ピアノ協奏曲第23番 イ長調 K.488 ほか

第239回定期演奏会 【指揮】飯森範親 【ソプラノ】石橋菜実 【バリトン】平野 和
【合唱】ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団、日本センチュリー合唱団
10/24(木) 團伊玖磨:飛天騒乱/ブラームス:ドイツ・レクイエム op.45

第240回定期演奏会
【指揮】飯守泰次郎 【ピアノ】アルトゥール・ユッセン、ルーク・ユッセン
11/14(木) モーツァルト:3台のピアノのための協奏曲 へ長調 K.242(2台ピアノ版) ほか

第241回定期演奏会 【指揮】ウリエル・セガル 【ヴァイオリン】山崎智子
12/8(日) バルトーク:ヴァイオリン協奏曲 BB 128 ほか

第242回定期演奏会 【指揮】小泉和裕
2020.1/30(木) シューマン:交響曲第1番 変ロ長調 op.38「春」 ほか

第243回定期演奏会 【指揮】飯森範親 【サクソフォン】須川展也 【チェロ】新倉 瞳
2020.3/12(木) サイ:「バラード」アルトサクソフォンと管弦楽のための
チェロと管弦楽のために(飯森・新倉瞳による委嘱作品・日本初演) ほか

公演お問い合わせ
センチュリー・チケットサービス 06-6868-0591 <http://www.century-orchestra.jp/>

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ 2019-2020 Comig Up Concert!!

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラの2019-2020年定期演奏会。

今シーズンはホームグラウンドであるザ・シンフォニーホールで楽団初となる年6回公演の開催が実現!指揮者陣の豪華顔ぶれ、吹奏楽の魅力により多くの方に伝えるにふさわしい、会心のプログラムでお客様をお迎えします。

第124回

多彩な“デメイ尽くし”で圧倒。
日本初演曲にも期待大!

2019.4/27(土)
2:00PM

オール・デメイ・プログラム
ウインド・パワー
交響曲 第2番「ビッグ・アップル」
交響曲 第5番(日本初演)

指揮・作曲 ヨハン・デメイ



第125回

芸術顧問が日本人作曲家の名作で
Shionの魅力余すことなく届ける!

2019.6/23(日)
2:00PM

渡辺 浦人:交響組曲「野人」
團伊玖磨:プラスオーケストラのための
行列幻想
J.バーンズ:交響曲 第9番(日本初演)

指揮 秋山和慶



第126回

音楽監督 宮川彬良の本領を見せる!
細部までこだわり抜いたプログラム

2019.9/22(日)
2:00PM

バレエ音楽「欲望という名の電車」から/
吹奏楽のためのソナタ「ブラック・ジャック」ほか

指揮・作曲 宮川彬良



第127回

Shion正指揮者が精彩を放つ一夜!
繊細かつ力強い響きに注目を。

2019.11/30(土)
2:00PM

長生淳:トリトン/F.チェザリーニ:ブルー
ホライズン op.23b/J.イペール(西村
友編曲):交響組曲「寄港地」/C.ドビュッ
シー(西村 友編曲):交響詩「海」

指揮 西村 友



第128回

劇性と神秘が交錯するプログラム
現田茂夫の指揮で濃密な時間を堪能する

2020.1/23(木)
7:00PM

高昌帥:吹奏楽のための風景詩「陽が昇るとき」
F.チェザリーニ:交響曲 第1番 op.50
「アークエンジェルズ」

指揮 現田茂夫



第129回

聴くものの心を揺さぶる妙技を生み出し、
スリリングな世界を繰り広げる

2020.3/14(土)
2:00PM

M.グールド:ジェリコ狂詩曲/A.リード:
吹奏楽のための第3組曲「バレエの情
景」/J.マッキー:吹奏楽のための交響
曲「ワインダー・シー」

指揮 渡邊一正



マイシート年間会員(6公演)

S 19,800円 A 17,800円 B 14,800円 (税込)

マイシート上期・下期(各3公演)

S 12,000円 A 10,200円 B 8,100円 (税込)

(お申込みは、Shionチケットセンターまで)

[1回券] S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円 C 1,500円 ペア 7,000円 (税込) 学割(S、A、Bより1000円引)

※マイシートプラン、ペア席、学割はShionチケットセンターのみの販売です

[ご予約] Shionチケットセンター 0800-919-5508 / ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] Shionチケットセンター 0800-919-5508 (土日祝を除く10:00~17:30)

[主催] 公益社団法人 大阪市音楽団



Check Point!

2019-2020シーズンにザ・シンフォニーホールで
開催の定期演奏会。ヨハン・デメイ待望の最新作
「交響曲第5番」、ジェームズ・バーンズ作曲「交
響曲第9番」の日本初演2曲を含む色彩豊かな
楽曲と、豪華な顔ぶれの指揮者陣が揃います。
Shion史上最大となる6公演の定期演奏会にど
うぞご期待ください。

Message from Maestro

第126回定期公演によって
Shion 音楽監督 宮川彬良

バレエ音楽「欲望という名の電車」再演に寄せて最近気が付いた
事です。本来作曲家である私の音楽は、バレエや舞踊に根ざし
ております。そこから多くを学び育ったものが私の音楽なのです。
何故なら私は、十代の終わりからバレエのレッスンピアノを弾く事で
音楽の基礎を体感したからです。舞踊家が大きくジャンプする時、
彼等はその一拍前で 踏み込みます。小刻みにステップする時、そ
こにビートとリズムが生まれます。私の音楽の原点。踊りのないバレ
エ音楽を、どうぞお楽しみ下さい。これが私の音楽です。



©石黒ミカコ



スペシャル・ゲスト

古澤 巖

(ヴァイオリン)

The Symphony Hall Big Band Vol.14

~Music Director 菊池寿人~

2019年コンサートのクライマックス!

古澤 巖との強力タッグで圧倒する!



※写真は2017年6月に行われた公演の様様です。

今秋、ザ・シンフォニーホール・ビッグ・バンドが、ヴァイオリニスト古澤巖をスペシャル・ゲストに迎える超強力コラボで、再び会場を湧かせる!

これまで、古澤をはじめ、ヴァイオリニストの川井郁子、テノール歌手の加藤ヒロユキ、ギタリストの押尾コータロー、サクソフォニストの本田雅人など幅広いジャンルのアーティストとタッグを組み、ここぞしか聴くことができないプレミアムな演奏を繰り広げてきた。

彼らは自らプログラム全曲のアレンジを手掛けているが、過去

13回のコンサートを通して、同じ曲を同じアレンジで演奏したことはない。つねに斬新さを見せ、無数の表情でファンを楽しませてきた。そんなザ・シンフォニーホール・ビッグ・バンドの個性とゲストアーティストの魅力がガッチリ融合した時、極上の感動が生まれる。その素晴らしいシーンの数々をもっと多くの方に体感してほしい!

今回、スペシャル・ゲストに迎える古澤とは4度目の共演となる。古澤は、これまでの共演について「初めて一緒に音を出したときからクオリティの高さが印象的だった。全員がリズム隊となって攻めてくるので、どうスウィングするかということを常に意識させられる」と語る。クラシックのみならず、ポップス、ジャズなど幅広く柔軟に音を作る古澤。変幻自在の技巧とホールに響き渡る艶やかな音色に今回も期待したい。現在、古澤が「ビッグ・バンドとやったら素敵だろうな」という曲目を厳選中なので、続報を楽しみにお待ちいただきたい。

なお、2019年のザ・シンフォニーホール・ビッグ・バンドは、残すところ、この1公演のみ。聴くものを圧倒する音のシャワーでクライマックスを迎える、最高の瞬間をお見逃しなく!

[演奏]The Symphony Hall Big Band

[スペシャル・ゲスト/ヴァイオリン]古澤 巖

A列車で行こう/Sing, Sing, Sing/スペイン (ほか)

2019.10/3(木) 7:00PM

S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円 (税別)

※ご購入時期により消費税額が変動しますので、お問合せください。

[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ]大阪アートエージェンシー 072-648-3852

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:3/21(木・祝) 一般発売:3/24(日)

大迫力のサウンドと心躍るスウィング!



1st Album

「躍動」

必聴の1枚!

NOW ON SALE

TSH Record TSCH-1001 2,500円(税込)

2016年5月20日にザ・シンフォニーホールで行われたVol.2公演を収めたライブアルバム。各楽器のフレーズ、プレイヤーのテクニックを感じる事が出来、聴くほどに味が出てくる、ビッグ・バンド・ジャズのスタンダードといえる1枚。

※The Symphony Shop、ザ・シンフォニー チケットセンターの窓口、Amazonにてご購入いただけます。



＼お子様から大人まで最高の音楽を味わえる！！／

ファミリーで楽しむコンサート

関西フィル 第5回 親子定期演奏会

楽しく&感動しながら
学べるから、
最後まで夢中になれる！
夏休みの自由研究にぴったりの
うれしい特典付き！

4歳から入場可能！
“聴いたことのある”
有名な作曲家の名曲が
続々と登場します！



関西フィルハーモニー管弦楽団とザ・シンフォニーホールが、夏真っ盛りの季節にお贈りしている「親子定期演奏会」が今年も開催決定！このコンサートは、4歳以上のお子様とそのお父さん、お母さんへ“一流の本物の演奏”をお届けする人気企画です。今年のテーマは、ズバリ「夏休みの自由研究はこれで決まり！」。

指揮者の藤岡幸夫が、楽しいトークでわかりやすく解説する作曲家と音楽の歴史、クラシックの豆知識、楽器の種類や特徴。そして、お子様にも“聴いたことがある！”と感じていただける名曲を生のおけストラ演奏でお届けします。ファミリーにとっても忘れられない夏の思い出となるステージにご期待ください。なお、特典として、このコンサートで学んだことや感じたことをすぐに書き込むことができる、便利な「自由研究シート」もプレゼントします！



【指揮】藤岡 幸夫 【オルガン】富田 一樹
【管弦楽】関西フィルハーモニー管弦楽団

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」K.492
ベートーヴェン：交響曲第5番 ハ短調「運命」op.67より第1楽章 ほか
ドヴォルザーク：交響曲第9番 ホ短調「新世界より」op.95より第2楽章

2019.8/3(土) 2:00PM

大人 A 4,320円 B 3,240円
子ども A 2,160円 B 1,620円(税込)

※4才以上のお子様からご入場いただけます。 ※小さなお子様が無言に鑑賞いただけない場合は、ロビーでのモニター鑑賞をお願いさせていただきます場合がございます。

【ご予約・お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【主催】ザ・シンフォニーホール／公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団

3/21(木・祝)先行
3/25(月)一般

▼初めてオーケストラの音楽を聴くお子様も緊張の心配なし！指揮者 藤岡幸夫の楽しいトークが心をほぐし、素敵な音世界へ誘います！



オールバッハ名曲選！！＼夏休みの思い出に！／ 真夏のオルガンコンサート 2019

富田 一樹 (バッハ国際コンクール優勝)
2つのトッカータとフーガ

今年の夏も完売必至！
世界が認めるオルガニスト富田一樹が
今年も真夏のオルガンコンサートに登場！

この夏、本格的なパイプオルガンの音色を楽しんでみませんか？今年で4回目を迎えるザ・シンフォニーホールの恒例「真夏のオルガンコンサート」。名曲が揃ったオールバッハプログラム、オルガニストに迎えるのは、2016年にドイツ・ライプツィヒで開かれた第20回バッハ国際コンクールのオルガン部門で日本人初の優勝を果たした富田一樹です。パイプオルガンが奏でる壮大で幻想的なバッハのオルガン音楽をザ・シンフォニーホールの豊かな響きの中で聴くのは、格別の心地良さ。「情熱」、「愛」、「慰め」を感じさせ、癒しと希望を与えてくれる、MCあり1時間のコンサート。心に迫る多彩な音色が、夏の思い出を素敵に飾ってくれることでしょう。

発売中！

小学生からバッハの
美しい名曲を体感！
巨大な名器の中に
いるかのような
壮大な音色。



▲舞台正面に厳かに佇むパイプオルガンは、透明感のある明瞭な音の特徴。3732本のパイプから成り、3段の手鍵盤と低いパイプを鳴らす足鍵盤、音色を調整する54のストップがあります。



【オルガン】富田 一樹

J.S.バッハ：
トッカータとフーガ ニ短調 BWV565／いと高きところにいます神にのみ栄光あれ BWV663／われを憐れみたまえ、おお主なる神よ BWV721／フーガ ト短調「小フーガ」 BWV578／おお愛する魂よ、汝を飾れ BWV654／最愛のイエス、われらここ集いて BWV731／トッカータとフーガ ニ短調「トリアド」 BWV538

2019.7/27(土) 7:00PM

全席指定 2,160円(税込)

【ご予約・お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【主催】ザ・シンフォニーホール

※休憩なし。約60分間のコンサートです。
※未就学児のご入場は御遠慮いただいております。

大阪交響楽団 0歳児からの “光と映像で楽しむ オーケストラ” Vol.14

～Viva オペレッタ!!～

リピート率の高い人気シリーズ!!
ホール中に広がる素敵な音楽空間
嬉しい&安心の設備も完備！

「コンサート中に泣いてしまうかもしれない」「おむつ替えはできる?」「授乳できる場所はある?」「ベビーカーで行きたいけど…」そんな心配は一切ご無用なのが、この、コンサート!おむつ替え室、授乳室、ベビーカー置き場完備、そしてプロのオーケストラによる演奏を0歳のお子様から楽しめることで、人気を集めています。

迫力満点のオーケストラサウンド、演奏に合わせて映し出される、プロジェクションマッピング、音楽リズム遊びや楽器紹介コーナーなど、お子様を夢中にさせる1時間コンサート。開演前にはロビーコンサートもあり、ホールに足を踏み入れた瞬間から素敵な音楽空間が広がります。この春是非、ご家族で遊びに来てください！

発売中！

0歳児から
入場可能！
歌って泣いて
笑って、
大盛況！



▲迫力満点のオーケストラサウンドと煌びやかなプロジェクションマッピングがお子様を夢中にさせます

◀歌のお兄さんとお姉さんが楽しくエスコート！

Vol.14のテーマは「オペレッタ」!指揮は平川範幸ソプラノは西田真由子。▼

【指揮】平川 範幸
【ソプラノ】西田 真由子 (堺シティオペラ)
【歌のお兄さん／お姉さん】新井 宗平／山本 かずみ
【管弦楽】大阪交響楽団



オフエンバック：喜歌劇「天国と地獄」より「カンカン」★
ヨハン・シュトラウスⅡ：喜歌劇「こもり」より「侯爵様、あなたのようなお方は」◆

喜歌劇「こもり」序曲★

カールマン：喜歌劇「チャールダーシュの女王」より「ハイア、ハイア、山こそ我が故郷」◆ほか
★…プロジェクション・マッピングつき ◆…ソプラノつき

2019.3/27(水) 午前の部 11:00AM 午後の部 2:00PM ※休憩なし。約60分の公演です。

おとな S 2,500円 A 2,000円 B 1,500円
子ども S 1,500円 A 1,000円 小学生 B 800円(税込)

※子ども…0歳児～小学生まで ※B席は未就学児不可。 ※乳幼児のお子様(お膝の上でも)も必ず座席券をご購入ください。

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【お問合せ】公益社団法人 大阪交響楽団 072-226-5522
【主催】公益社団法人 大阪交響楽団／ザ・シンフォニーホール

次回公演
決定！

2019年7月30日に
Vol.15の開催が決定!
乞うご期待!

ズーラシアンウィンドオーケストラ ズーラシアン 吹奏楽部！

0歳児も一緒に！
動物たちの
全力演奏に
ファミリーで胸熱！

かわいいだけじゃない、
レベルの高さに注目！
大編成ならではの
迫力満点のサウンドを体感！



リーダーで指揮をつとめるオカビ(キリン科)率いるズーラシアンプラスから、ズーラシアン吹奏楽部がやってきます!ズーラシアンプラスは、2000年に横浜で誕生。コンサートを通して、子どもの感性を豊かに育むことはもちろん、保護者も感動できる作品作りに取り組み、親子で感動を分かち合うことで生まれる“豊かな親子コミュニケーション”を目指しています。動物たちのかわいいだけじゃない高い演奏力で、すでに大阪のお客さんを虜にしています。

プログラムは、耳馴染みのある「南の島のハメハメハ」、「猫ステップ踏んじやった」など。動物たち個々の素敵なパフォーマンスにも注目です。大人気コンサートのため、チケットはお早めに！

発売中！



▲メンバーはリーダーのオカビ(写真下段中央)率いるズーラシアンプラスの他、フルートとハーブの蝶のデュオ「ことふえバビヨン」、きつねによるサクソス四重奏団「サキソフォックス」、ネコによるクラリネット四重奏団「クラリキャット」などが登場します!▼



【吹奏楽】ズーラシアンウィンドオーケストラ
吹奏楽のための「文明開化の鐘」／マーチ「南の島のハメハメハ」／猫ステップ踏んじやった／オーラリー／キャッツインアイランド ほか

2019.6/22(土) 2:00PM S 4,000円 A 3,500円 B 3,000円 C 2,500円 D 1,000円(税込)

※0歳児より入場可能。3歳児以上有料 ※3歳児未満膝上鑑賞無料(大人1人につき1名まで)

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【主催・お問合せ】スーパークイズ 042-765-7284

あわせて
チェック!

8/1(木)にはズーラシアンプラスによるサマー・ミュージック・フェスティバルが開催!
演奏予定曲 気のいいアヒル／ウォルフガング・アマリリスモーツァルト／昆虫大図鑑 ほか
—— チケット好評発売中! ——

〈名曲シリーズ〉大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソワレ・シンフォニー Vol.13

人気・実力を兼ねそろえたピアニスト田部京子が
ソワレ・シンフォニーに登場!

指揮 角田鋼亮
大阪フィルハーモニー交響楽団



©飯島 隆

©大杉 幸平

Interview

ピアノ 田部京子

KYOKO TABE

©武藤 章



指揮者とソリストの新鮮な組み合わせが、毎回話題を呼んでいる「ソワレ・シンフォニー」。Vol.13に登場するのは、昨年CDデビュー25周年を迎え、これまでに30枚以上のアルバムをリリースし、国内外で高い評価を受けている実力派ピアニスト、田部京子。2008年、ドラマ「のだめカンタービレ」で千秋真一役の指揮指導を務めて注目を集めた新進気鋭の指揮者、角田鋼亮との共演で、モーツァルトのピアノ協奏曲第21番を聴かせてくれる。

「モーツァルトのコンチェルトの中でも、最も近い存在で、大好きな作品です。共演する指揮者、オーケストラによって変幻自在に変化するのです、そこが毎回楽しみです」

指揮者とソリストの新鮮な組み合わせが、毎回話題を呼んでいる「ソワレ・シンフォニー」。Vol.13に登場するのは、昨年CDデビュー25周年を迎え、これまでに30枚以上のアルバムをリリースし、国内外で高い評価を受けている実力派ピアニスト、田部京子。2008年、ドラマ「のだめカンタービレ」で千秋真一役の指揮指導を務めて注目を集めた新進気鋭の指揮者、角田鋼亮との共演で、モーツァルトのピアノ協奏曲第21番を聴かせてくれる。

Vol.13

[指揮]角田鋼亮 [ピアノ]田部京子
[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

ロッシーニ: 歌劇「チエネントラ(シンデレラ)」序曲
モーツァルト: ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K.467
ベートーヴェン: 交響曲 第7番 イ長調 op.92

2019.5/28(火) 7:00PM

※6:50PMより角田鋼亮によるプレトーク
A 5,000円 B 3,000円(税込)

発売中

Vol.14

[指揮]大友直人 [ヴァイオリン]服部百音
[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

エルガー: 弦楽セレナード ホ短調 op.20
シベリウス: ヴァイオリン協奏曲 二短調 op.47
チャイコフスキー: 3大バレエ音楽 ハイライト

2019.10/18(金) 7:00PM

※6:50PMより大友直人によるプレトーク
A 5,000円 B 3,000円(税込)

先行予約 5/30(木) 一般発売 6/5(水)

※大阪フィル・チケットセンター他、プレイガイドは6/4(火)より一般発売 ※Vol.13とVol.14のセット券は、大阪フィル・チケットセンターで発売中

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[お問合せ] 大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890
[主催] 公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会 / ザ・シンフォニーホール

21番、ザ・シンフォニーホールの素晴らしい響きの中で、どんな演奏になるのか、とても楽しみです」

自作のカデンツァも聴きどころだ。

「モーツァルト自身のカデンツァがなく、他の作曲家や演奏家が遺したカデンツァがしっくりこない場合は、自作のカデンツァを弾くことがあります、今回の21番もその一つです。古典派の枠組みの中で、ほんの少しロマン派の香りが感じられるかもしれません」

即興的なインスピレーションあふれる演奏になりそうです。

「モーツァルトのコンチェルトは、室内乐的な魅力が魅力です。ライヴならではの息づかい、対話をお楽しみいただけたらいいですね。ハ長調の明るく闊達な作品ですが、モーツァルトが心の中心

に抱えていた哀しみ、驕りが時折現れる、光の中に影が見え隠れする……、それがモーツァルトです。第2楽章は、まるで歌曲のよう……、減衰するピアノの音色をうまく操って、ロング・トーンで歌わなければならないので、ザ・シンフォニーホールの響きに助けられながら、美しく歌えたらいいなと思います」

後半のベートーヴェンの交響曲第7番も、興味深い。

「ベルリン留学中にフィルハーモニーホールで何度も聴いた、ベートーヴェンの交響曲の中でも特に好きな作品です。指揮者、オーケストラによって、テンポ感も色々なので、今回はどのような演奏が繰り広げられるのでしょうか……楽しみです」

(取材&文 森岡 葉)

ブラームス国際コンクール 日本人初の優勝！ 大型新人デビュー！

3大Bプロジェクト 中村太地 ヴァイオリン・ リサイタル

撮影 山内洋枝

Interview

江口玲×中村太地

J. S. バッハ、ベートーヴェン、ブラームスの総称「ドイツ3大B」をご存知の方は多いだろう。だが、各々あまりに偉大で個性的な彼らの名曲だけで固めたプログラムは世界的にも稀。そんな貴重で豪華な公演が大阪で実現する。

出演は、2017年に難関ブラームス国際コンクールを制した若手実力派ヴァイオリニストの中村太地。ピアノを世界的な弦楽器奏者との共演が豊富な江口玲が務めるのも頼もしい。そして中村は、これが大ホールにおける本格的なリサイタル・デビューとなり、



いよいよ注目と期待が高まる。

江口が昨年夏の中村との初共演時の印象を「浮ついたところがなく、楽譜をよく読むのがすばらしい」と讃えると、中村は「江口さんに解釈の引き出しをたくさんいただき、可能性も広がりました」と返礼。2人の良好な関係が伝わるひとコマだった。

中村は2009年からウィーン国立音楽大学に留学中だが、その間、2度に渡ってブラームス国際コンクールに挑戦。その理由と成果を次のように語る。

「2015年の初挑戦は第3位で、もう十分と思ったのですが、今後の音楽活動を考えた時に、やはりこの権威あるコンクールでもう1段ステップアップしたくなっていた。2017年に再挑戦したんです。その間、ブラームスが活躍したウィーンで暮らしながら、彼の作品にじっくりと取り組むことで、解釈や親近感がより深まりました」

そのブラームスのソナタ全曲を間もなく江口と共に録音し、当公演は新譜発売記念も兼ねる中村。演目には、J. S. バッハの第4番、ベートーヴェン「クロイツェル」、ブラームス「雨の歌」が並ぶ。この3つの傑作ソナタは時代も様式も異なり、J. S. バッハの作品はもとと古楽器用に書かれたものだ

が、奏法や解釈を尋ねると2人は声を揃えて――

「作品の語法よりも美しさを第一にした。本質を追求したいと思っています。モダン楽器ならではの3大Bの醍醐味をたっぷりお楽しみください」と自信に満ちた回答をしてくれた。

5〜15歳までの少年時代を大阪で過ごしたという江口は、当ホールの熱心なファンの思い出話をユーモラスに語りながら、音響についても「客席と舞台で同じ響きができる最高の空間です」と絶賛。その言葉に中村は、大ホールでのリサイタル・デビューに向けた期待をいきいきとした眼差しで膨らませていた。

(インタビュアー：文 渡辺謙太郎)

[ヴァイオリン]中村太地 [ピアノ]江口玲

バッハ：ヴァイオリンとハープシコードのためのソナタ第4番 ハ短調 BWV1017/ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ イ長調 op.47「クロイツェル」/ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第1番「雨の歌」

2019.10/5(土) 7:00PM

全席指定 3,000円(税込)

[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ]テレビマンユニオン 03-6418-8617

[主催]テレビマンユニオン/ザ・シンフォニーホール

先行予約:3/21(木・祝) 一般発売:4/1(月)



The Symphony Hall × 和太鼓松村組 夏祭り 2019 心躍る夏

五臓六腑にずっしりと響き、魂がほとばしる。
今夏も和太鼓松村組が熱きエネルギーを放つ!

[出演] 和太鼓松村組

2019.7/30(火) 7:30PM

全席指定 ¥3,000 (税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] エス・ビー・エース 06-6204-0412

[主催] エス・ビー・エース/ザ・シンフォニーホール

先行予約: 3/21(木祝) 一般発売: 3/22(金)



おなじみザ・シンフォニーホール×和太鼓松村組のコンサートがこの夏も開催決定! 真夏の夜に、体の奥からスカッと熱くなる。そんなエネルギーギッシユな一夜をお楽しみいただけます。

日本人の琴線にふれる力強く勇敢な和太鼓の音は今、子どもから大人まで幅広い年齢層の方に親しまれ、世界からも熱い視線が注がれるほど人気を集めています。最近では和太鼓松村組×ザ・シンフォニーホール公演にも学生のお客が増え、公演のスタート前から会場は活気づき、エネルギーに満ち溢れています!

迫力いっぱい響く和太鼓の独奏はもちろん、多彩なマリimba、透明感があり、時に哀愁を感じさせるオカリナ、ケーナ(南米、アンデス地方で使われてきた縦笛)の音を融合させるスタイルが和太鼓松村組の本領。その独自の音楽とザ・シンフォニーホールの響きの良さが合わさることで、唯一無二の気持ち良さ、そして興奮と感動の瞬間が生まれます。

今回のテーマは「心躍る夏」。リーダーの松村公彦率いる7人のメンバーが、自在にパワフルにお届けする、文字どおり躍動感たっぷりステージは必見です。

和太鼓松村組のパフォーマンスを一度見れば、和太鼓の魅力を実感できること間違いなし! まだ和太鼓のコンサートに行っていないという方には特におすすめです! 夏の夜に、心を躍らせてみませんか?

きたやまおさむプロデュース 杉田二郎 きたやまおさむを歌う ~ちょうど良いかげんなコンサート~

懐かしい“あの曲”が続々と!
レジェンド三つ巴タッグによるコンサート

[出演] きたやまおさむ、杉田二郎、高石ともや (スペシャルゲスト)

戦争を知らない子供たち/あの素晴らしい愛をもう一度/風/男どうし (ほか)

2019.8/2(金) 6:30PM

全席指定 ¥7,500 (税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] エス・ビー・エース 06-6204-0412

[主催] エス・ビー・エース/ザ・シンフォニーホール

先行予約: 3/21(木祝) 一般発売: 3/22(金)



新しい時代を迎え、またひとつ昭和が遠くなっていくが、名曲はいつまでも色褪せず、人々の心にずっと輝き続ける。

1970年、大阪万博が行われた年に大ヒットを記録した「戦争を知らない子供たち」。この曲を歌唱し、現在も歌手として精力的に活動を続ける杉田二郎が、ザ・シンフォニーホールに初登場。今回の公演では、伝説のバンドザ・フォーク・クルセダーズのメンバーであった、きたやまおさむ(北山修)も、このコンサートのプロデューサーとしてステージを飾る。

プログラムには、冒頭の「戦争を知らない子供たち」(レコード大賞作詞賞受賞)や長きに渡り音楽の教科書にも掲載されている「あの素晴らしい愛をもう一度」など、若い世代の方にも耳なじみのある珠玉の北山作品が繰り広げられる。杉田の1975年のヒット曲「男どうし」なども披露される他、3人のトークも加わり、盛り上がることに必至だ!

さらに、スペシャルゲストとして、フォークソングの創世期以来、現役で歌い続けている、きたやまおさむの盟友高石ともやもステージに参加するので、フォークソングファンにとって、はまたとない、三つ巴のタッグが実現する。

昭和の懐かしい「あの頃」を思い浮かべながらレジェンドたちによる素晴らしいステージを存分に味わえるコンサートとなるだろう。

外山雄三「三大交響曲」

“強烈な3曲”を一夜にして楽しめる。
外山雄三と大阪交響楽団の挑戦と覚悟。

[指揮] 外山雄三 [管弦楽] 大阪交響楽団

シューベルト: 交響曲 第8番 口短調 D.759「未完成」/ ベートーヴェン: 交響曲 第5番 ハ短調 op.67「運命」/ ドヴォルザーク: 交響曲 第9番 ホ短調 op.95「新世界より」

2019.4/12(金) 7:00PM

S 6,480円 A 5,400円 B 4,320円 (税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] 公益社団法人大阪交響楽団 072-226-5522

[主催] 公益社団法人大阪交響楽団 / ザ・シンフォニーホール

Interview



発売中

前々号の『未完成』、前号の『運命』に続いて、いよいよ最終回、今号は『新世界より』の魅力について語ってもらった。

「ドヴォルザークというと『スラヴ舞曲』とか『ユーモレスク』とかの豊かなメロディーと、魅力的なリズムを思い浮かべるのではないかと思います。『新世界より』は、アメリカへ移住したドヴォルザークが、故郷への望郷の念を抱きつつ書いたもので、黒人音楽が故郷のボヘミアを想い、刺激を受けている。またクラシックの垣根を超えた美しいメロディーが次々と溢れ出てくることも魅力のひとつですね」

最後にこの『三大交響曲』にかける想いを語ってもらった。

「どの曲もとても緊張感のある、メインとなるべき曲。それぞれ非常に性格がはっきりしていて、主張が強烈な3曲をひと晩で一気に演奏してしまう、ある意味無謀な企画なのですが、だからといって出来ないという訳ではない。だからこそ今の大阪交響楽団にとって『挑戦』であり、私たちは全力を尽くして取り組みます。素晴らしい作品にふさわしい演奏をしたいですね。でもお客様は、我々の『覚悟』など気にしないで、ただこの名曲を楽しんでいただきたいと思います」

数々の名演を繰り広げてきた外山がそのタクトを降ろした時、新たな伝説が生まれるだろう！

(取材・文 三宅坂幸太郎)

トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン ウィーン・プレミアム・コンサート

音楽の都ウィーンから超一流の演奏家が集結！
1年に1度、まさにプレミアムな感動がここに。

[ヴァイオリン] フォルクハルト・シュトイデ [クラリネット] ゲラルド・パッヒンガー
[ヴィオラ] エルマー・ランダラー [管弦楽] トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン

シューベルト: 交響曲 第5番 変ロ長調 D485 / ブルッフ: クラリネットとヴィオラのための協奏曲 ホ短調 op.88 / ユーゼフ・シュトラウス: ポルカ・マズルカ「遠方から」 op.270 / ユーゼフ・シュトラウスII: 喜歌劇「ヴェネツィアの一夜」序曲 op.416 / 宝石のワルツ op.418 / ポルカ・シュネル「急行列車」 op.311 / 入江のワルツ op.411

2019.4/19(金) 7:00PM S 6,000円 A 5,000円 B 3,500円 (税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] 大阪アーティスト協会 06-6135-0503

[主催] トヨタ自動車株式会社

発売中



トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンが今春もザ・シンフォニーホールに来演する。2019年は全国7都市8公演を巡るツアーを行うトヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンは、このツアーのためだけに特別に編成されたオーケストラだ。ウィーン国立歌劇場ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団(以下ウィーン・フィル)のメンバーを中心とした、世界最高水準の技術を持つ30名が集結して実現する極上の演奏を、1年に1度、ファンは心待ちにしている。

指揮者なしというスタイルを取り、絶妙で息の合った演奏でお客様を魅了していく当オーケストラ。芸術監督を務めるフォルクハルト・シュトイデ(ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター)のもと、今回の大阪公演は、クラリネットのゲラルド・パッヒンガー(ウィーン交響楽団)、ヴィオラのエルマー・ランダラー(ウィーン・フィル)がソリストとして参加する。

プログラムは、ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサートでも披露されている、J.シュトラウスIIやJ.ランナーなどの名曲をたっぷり。

日本のファンについて、「心優しく、知識も豊富で、とても熱心」と語るフォルクハルト・シュトイデ。強力なメンバーとともに、今年も美しいアンサンブルを響かせ、ザ・シンフォニーホールに至福の時間を与えてくれるに違いない。

台湾フィルハーモニック

いま注目すべき、アジア屈指のオーケストラ。
6年振りの来日で民族性豊かなプログラムを届ける!

[指揮]リュウ・シャオチャ [ヴァイオリン]リチャード・リン
[管弦楽]台湾フィルハーモニック

芥川也寸志:交響管弦楽のための音楽/メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調
op.64/江文也:台湾舞曲 op.1/シベリウス:交響曲 第2番 二長調 op.43

2019.5/6(月・休) 2:00PM

S 7,000円 A 6,000円 B 5,000円(税込)

[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ]株式会社アスペン 03-5467-0081

[主催]株式会社アスペン/ザ・シンフォニーホール

発売中



今、アジアのオーケストラが熱い！
個々の楽員の水準が軒並み上がっているうえ、世界的指揮者がしばしば客演。アンサンブルを着々と磨き上げてきた楽団も少なくない。
そんな上昇気流に乗っているアジアの新しい風のひとつが、大阪に初登場する、国立オーケストラ 台湾フィルハーモニックだ。
今回の来日は、メンデルスゾーンとシベリウスの名曲に加えて、日本と台湾ゆかりの作曲家の作品という凝った選曲である。指揮は2010年より同フィル音楽監督をつとめる台湾出身のリュウ・シャオチャ。ブザンソン、コンドラシン国際などの主要コンクールで優勝後、欧州の歌劇場で実績を残してきた指揮者で、台湾フィルのレベルアップに貢献してきた名匠だ。
芥川也寸志の《交響管弦楽のための音楽》、江文也の《台湾舞曲 op.1》、そしてシベリウスの交響曲第2番という民族性豊かなプログラムをどう聞かせてくれるか楽しみである。メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲にはソリストとして台湾出身の新鋭リチャード・リンが出演。2013年の仙台国際コンクールの覇者として日本でもその名は知られており、実力は折り紙付き。昨年若手の登竜門である難関のインディアナポリス国際コンクールで優勝し、まさに未来の巨匠として着実に歩みつつあるリンにも期待である。

(文 伊藤制子)

尾高忠明×大阪フィルハーモニー交響楽団 ブラームス・チクルス -ロマン派の豊穡-

[指揮]尾高忠明 [独唱アルト]清水華澄★Ⅱのみ出演

[合唱]大阪フィルハーモニー合唱団

[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

2019.5/11(土) 2:00PM

ハイドンの主題による変奏曲 op.56a

埋葬の歌 op.13/交響曲 第1番 八短調 op.68

発売中

2019.7/13(土) 2:00PM

アルト・ラブソニー op.53★/運命の歌 op.54/交響曲 第2番 二長調 op.73

Sinfonia先行予約:3/28(木) 一般発売:4/24(水)

※大阪フィル・チケットセンター 他プレイガイドでは4/23(火) 一般発売

2019.9/4(水) 7:00PM

悲劇的序曲 op.81/哀悼の歌 op.82/交響曲 第3番 へ長調 op.90

一般発売:5/22(水) ※大阪フィル・チケットセンター 他プレイガイドでは5/21(火) 発売

2019.11/20(水) 7:00PM

大学祝典序曲 op.80/運命の女神の歌 op.89/交響曲 第4番 ホ短調 op.98

一般発売:7/31(水) ※大阪フィル・チケットセンター 他プレイガイドでは7/30(火) 発売

[全4回セット券] A 19,000円 B 14,000円(税込)

※大阪フィル・チケットセンターでのみ販売

[各1回券] A 6,000円 B 4,500円 C 3,000円(税込)

[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ]大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

[主催]公益社団法人大阪フィルハーモニー協会/
ザ・シンフォニーホール



交響曲+合唱曲の圧巻のコンサート
4回を通して、ブラームスの軌跡を辿る。

新音楽監督の尾高忠明と新たな航海に出発し、2年目のシーズンを迎えた大阪フィルが、今年はザ・シンフォニーホールで全4回のブラームス・チクルスを行う。堅牢でロマンティックなブラームスは、尾高と大阪フィルの音楽性にこの上なくふさわしい演目。しかも今回は、4つの傑作交響曲だけでなく、緻密な序曲や、大阪フィル合唱団との共演による繊細で優美な合唱作品も演目に含まれており、彼の作風を俯瞰できるのが嬉しい。
5月に若々しい第1番、7月に流麗な第2番、9月に憂愁あふれる第3番、11月に円熟した第4番と、季節にぴったりの交響曲が選ばれているので、充実した1年を過ごすための活力剤としても是非おすすめだ！

(文 渡辺謙太郎)

イタリア交響楽団

巨匠チョン・ミョンフンのDNAを受け継ぐ
若きマエストロと新鋭ピアニストとの共演!

[指揮]チョン・ミン [ピアノ]イヴァン・クルバン [管弦楽]イタリア交響楽団

モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」序曲/ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」/ベートーヴェン:交響曲 第7番 イ長調 op.92

2019.6/6(木) 7:00PM

S 10,000円 A 8,000円 B 6,000円 C 4,000円 (税込)

[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ]日本アーティストチケットセンター 03-5305-4545

[主催]日本アーティスト/ザ・シンフォニーホール

発売中



イタリア交響楽団(正式名称:ボルツァーノ・トレント・ハイドン管弦楽団)が11年ぶりに来日。注目の新鋭指揮者&ソリストとともにザ・シンフォニーホールに来演する。

今回の注目すべきポイントは、なんとといっても創設60年の歴史を持つオーケストラと、若手指揮者・ソリストとの共演だ。ソリストのイヴァン・クルバンは、2015年に出身地であるクロアチアにおける最も優秀な若手音楽家として賞を獲り、2017年にブゾニ国際ピアノコンクールで優勝。今後はイタリア、ドイツ、日本を含むアジア、南アメリカでもコンサートが予定されており、耳の早いクラシックファンにとっては注目しておきたい、弱冠22歳のピアニストだ。

そして指揮者は、世界的指揮者であるチョン・ミョンフンを父に持つチョン・ミン。(叔母はチョン・キョンファ)2007年の指揮デビュー以来、韓国はもちろんだ、日本でも東京フィルハーモニー交響楽団との共演ほか、活動が著しい。日本において、海外オーケストラと共演するのは今回が初めてで、プログラムは、モーツァルトの歌劇「フィガロの結婚」序曲、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」、交響曲第7番を届ける。

偉大な父から受け継いだDNAとセンスを発揮し、各地で好評を博している、堂々たる指揮ぶりに期待し、シーンの新風を体感してみてはいかがだろうか。

山響さくらんぼコンサート2019 大阪公演“OPERA GALA”

山響新時代。阪哲朗の常任指揮者就任を記念し、
6年ぶりにザ・シンフォニーホール公演を開催!

[指揮]阪 哲朗 [ソプラノ]森 麻季 [バリトン]大西宇宙 [管弦楽]山形交響楽団

モーツァルト:歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527 より二重唱“お手をどうぞ”/ヴェルディ:歌劇「リゴレット」二重奏第1幕“娘よ!お父様!”/モーツァルト:交響曲 第36番 ハ長調「リンツ」K.425 ほか

2019.6/29(土) 5:00PM

S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円 (税込)

[ご予約]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ]山響チケットサービス 023-625-2204

[主催]公益社団法人 山形交響楽協会/ザ・シンフォニーホール

★来場者全員に山形県東根市産
さくらんぼをプレゼント!

発売中



山々が立ち並び、夏は緑に囲まれ、冬は雪が降り積もる。まるでヨーロッパのような雰囲気の中、1972年に東北初のプロオーケストラとして創立された山形交響楽団。四季の自然を肌で感じられる楽団員たちが奏でる響きは、ひとたび聴けば、心を惹きつけてやまない。

スクールコンサートや楽器体験の催しを開くなど、地元密着で愛され続け、山形での演奏会は、ほぼ完売という人気を誇っている。

2012年から大阪公演が始まり、今年6年ぶりに、待望のザ・シンフォニーホールで『さくらんぼコンサート』を開催。『OPERA GALA』と題して、モーツァルトやヴェルディの華麗なる世界を届ける。2019年度から、同楽団の常任指揮者に就任する阪哲朗が指揮台上がり、日本を代表するソプラノ森麻季と、新鋭のバリトン大西宇宙が登場。二人の歌声が、山形交響楽団の音色と融合する瞬間が待ち遠しい。山形出身の両親を持つ阪は、「生まれ育った関西と、自分のルーツといえる山形。私にとって二つの特別な街を繋ぐコンサートになればと思っています」と語る。

来場者全員には、山形県東根市産のさくらんぼがプレゼントされ、ロビーでは山形物産展も開かれる。ヨーロッパの音楽と山形の味わい。すべてが融合し合い、五感で楽しめるコンサートになるだろう。

(文) 金子真由